

THE FLINTSTONE

ザ・フリントストーン

「地球を愛し、地球を学び、地球と遊び、地球に生きる」

このホームページは
千葉のFMラジオ局Bay FM 78MHzで
毎週日曜日23:00~24:00に放送中の
ネイチャー・プログラム
「ザ・フリントストーン」の
公式ホームページです。

新着情報

基本的に毎週日曜日の放送終了後に更新しますが、「放送の予定」などは決まり次第随時アップします。

今週のゲストトーク

今週放送したゲストのお話を掲載。ゲストの情報や、オンエアした曲のリストもあります。

イベント情報

自然が大好きな人に耳寄りな情報。海・山・川でのイベント、エコツアーや写真展、本の紹介など。

今後の放送予定

今後登場するゲストや放送内容を紹介。意外なゲストが出演!?

今までの ゲストトーク・リスト

今までに登場したゲストのリスト。幅広い顔触れに驚くかも!? 過去のトークへ飛べます。

地球の雑学

フリントストーン的トリビア満載!

ジジクリの モノグサ写真館

我がフリント家のじいさんが旅先で撮影した写真の数々をご覧くださいませ。タイトル通りモノグサなんて気長に更新をお待ちください(笑)。

リンク集

ゲストの皆さんのホームページや、自然・環境系の気になるサイトを紹介。



アウトドアライフ・コラムを担当してくださっている、夕陽評論家・油井昌由樹さんをご紹介。写真をクリックしてください!

Eメール

番組へのご意見ご感想、自然や環境についての情報など、どしどしお寄せください!! お待ちしております!!

peace@flintstone.co.jp

クリックするとメーラーが自動的に立ち上がりします。

BBS

新着情報

5オーシャンズに参戦中の白石康次郎さんを熱烈応援中!!



世界一過酷な外洋ヨットレース「5オーシャンズ」に参戦中の海洋冒険家、白石康次郎さん応援スペシャル。第1レグを、2位でフィニッシュ。現在はオーストラリアのフリーマントルで次のレグに向け、準備中の白石さんに近況をうかがいました!

(2006年12月24日更新)

2007年2月4日

- 今週のゲストトークを更新しました。
『写真家・園原徹さんと坂本昇久さんに聞く「極北の自然」』
- 油井昌由樹さんのコーナーに情報を追加しました。
- イベント情報を更新しました。
- 今後の放送予定を更新しました。

2007年1月30日

- 地球の雑学の「文化／文明／人の営み」に追加しました。もうすぐ節分、みなさんも豆まきをしましょう。

2007年1月28日



- 今週のゲストトークを更新しました。
『串崎吉光・文子ご夫妻の「北海道から千葉までの歩き旅」』
- <エコプロダクツ2006 取材レポート>みどりの小道～環境日記編。

2007年1月21日

- 今週のゲストトークを更新しました。
『WWFジャパン・小西雅子さんを迎えて、映画『不都合な真実』を考える』
- <エコプロダクツ2006 取材レポート>信州の風～ちよいエコ発電編。

2007年1月14日

- 今週のゲストトークを更新しました。
『シンガー・SAKURAさんのネイチャー・ライフ』
- <エコプロダクツ2006 取材レポート>ECOネット編。

2007年1月7日

- 今週のゲストトークを更新しました。
『内田正洋さん・一倉隆さんに聞く「ホクレア号航海プロジェクト」』
- <エコプロダクツ2006 取材レポート>エコジャパンカップ編。

2006年12月24日

- 今週のゲストトークを更新しました。
『グリーンサンタさんと「メリー・グリーン・クリスマス」』
- <電話インタビュー> 第1レグを、2位でフィニッシュ。現在はオーストラリアのフリーマントルで次のレグに向け、準備中の白石康次郎さんに近況をうかがいました!

2006年12月10日

- 今週のゲストトークを更新しました。
『園芸家・柳生真吾さんの家族の里山園芸』
- 地球の雑学の「環境／保護運動」に追加しました。2007年、10億本の木を植えよう!

【お知らせ】

掲示板は、最近心無い書き込みが多いため、一時終了することにしました。いままで楽しく活用いただいたみなさん、本当に申し訳ありません。いずれ別の形で、スタッフの生の声をお届けするページを立ち上げたいと思っています。それまでしばらくの間お待ちくださいませ。

2006年12月3日

●今週のゲストトークを更新しました。

『夕陽評論家・油井昌由樹さんと焚き火トーク！』

●<電話インタビュー> 第48次・南極越冬隊に参加する永島祥子さんに、出発前に電話でお話をうかがいました。

2006年11月26日

●今週のゲストトークを更新しました。

『ハワイのスペシャリスト、近藤純夫さんが迫る「フラの世界」』

●リンク集に「チームマイナス6%」を追加しました。

2006年11月19日

●今週のゲストトークを更新しました。

『サイクリスト、シール・エミコさんの「笑顔の世界一周」』

●<電話インタビュー> 北海道の宗谷岬から千葉県八千代市の自宅に向かって徒歩で旅をしている串崎吉光さん・文子さんご夫妻に近況をうかがいました。

2006年11月5日

●ジジクリのモノグサ写真館に追加しました。

2005年4月12日

●地球の雑学がオープンしました。

2005年2月24日

●ジジクリのモノグサ写真館をリニューアルしました。

2005年2月6日

●リニューアル・オープンしました！

[2004年11月以前のゲストトークのリストへ。](#)

[このページのトップへ](#)



[新着情報へ](#) [今週のゲストトークへ](#) [今までのゲストトーク・リストへ](#) [イベント情報へ](#)
[今後の放送予定へ](#) [地球の雑学へ](#) [リンク集へ](#) [ジジクリ写真館へ](#)

番組へのご意見・ご感想をメールでお寄せください。お待ちしております。

当サイトの画像・文章等の無断複写・転載・配布・二次使用等を禁じます。

Internet Explorer 5.1、Netscape7、Safari2で動作確認をしています。

Copyright © UNITED PROJECTS LTD. All Rights Reserved.

photos Copyright © 1992-2007 Kenji Kurihara All Rights Reserved.



今週のゲストトーク

イベント情報

今後の放送予定

今までの
ゲストトーク・リスト

地球の雑学

ジジリ
のモノグサ写真館

リンク集

2007年1月7日、14日、21日、28日

地球と私のためのエコ・スタイル・フェア エコプロダクツ2006 取材リポート

ここでは、昨年12月に開催された日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2006」の会場で、この番組の取材班が独自の視点で選んできた環境への優れた取り組みやユニークなエコ製品をご紹介します。

第1弾・エコジャパンカップ編
第2弾・ECOネット編
第3弾・信州の風〜ちよいエコ発電編
第4弾・みどりの小道〜環境日記編

みどりの小道〜環境日記編

最終回となる今夜は「(財)グリーンクロス・ジャパン」が行なっている環境教育事業「みどりの小道〜環境日記」をご紹介します。国際NGO「グリーンクロス・インターナショナル」の日本支部「グリーンクロス・ジャパン」がその活動の一環として行なっている「みどりの小道〜環境日記」は去年で8年目を迎えた事業です。毎年5月頃から全国の小学校やエコクラブに無料でA4サイズ、60ページの冊子「環境日記」を配布、その冊子には日記を書くページほか、環境問題の現状や、国や自治体、企業の、環境への取り組みをイラストなどを使って分かりやすく解説したページもあります。そして冊子を受け取った子供たちは、6月から夏休みにかけて、3ヶ月間、毎日、環境日記をつけることになっています。そんな「みどりの小道〜環境日記」について、「(財)グリーンクロス・ジャパン」の「川本恒彦(かわもと・つねひこ)」さんにお話をうかがいました。「環境日記」をつける子供たちには、こんな変化があるそうです。

川本さん「日記を付け出すと、最初は『今日は空き缶を5つ拾いました』とか、『タバコの吸殻を拾いました』、『水を節約しました』という感じで単純なことから始まるんですけど、そのうちにお父さんやお母さんに『今日は何か環境にいいことをやった!』って言って、家庭の中で変革が始まるんですよ。そうすると、ネタがどんどん出てくるんですね。で、それが実行行動のネタなんですよ。ところが、そのうち自分達も勉強を始めるんですよ。一体、水を節約するっていうことはどういうことなのか、世界の水の状況はどうなっているのか、アフリカの人達はどのようにして水に苦しんでいるのか、という感じで月を追うごとに世界的視野で物事を考えるようになります。そうすると、新聞記事の切り抜きはおろか、インターネットで調べたこと、本で調べたことを駆使して、みんな日記の別冊が2冊も3冊も出来上がるんですよ。それが、優秀な子供ってわけじゃないんですよ。普通の子供がそれを行っているんですよ。そういうことで、子供のエネルギーは無視できないですね。大人の想像以上に考えることがクリエイティブです。クリエイティブじゃなかったら、3ヶ月続かないと思いますね。

8年も経ちますと、環境日記の第1回目の卒業生は今、大学生になっているわけですよ。で、過去にも実際に大学生をパネリストのお兄様とお姉様として招いたこともありました。そういう子供たちが巣立っています。しかも、子供たちがやっているのを見ますと、子供に対して大人が褒めるよりも、子供が大人に対して立証していることを大人が聞けば、学者さんが環境問題について語るより、ずっと迫力もありますし、現実性があるんですよ。で、心も熱いですよ。だから、今の私達の義務として、子供たちの情熱、やったことを大人の世界に対して伝えたいですね。だから、日頃冗談で環境省の方とお話しているんですけど、中央環境審議会に子供代表を入れたいというのが、我々の究極の目的ですよって言うんですけども(笑)」

子供が出席する「中央環境審議会」、見てみたいですね。ちなみに「環境日記」に「グリーンクロス・ジャパン」のスタッフが挑戦したところ、わずか2週間でネタが切れ、書けなくなったそうです。3ヶ月間、日記をつける子供たちの忍耐力と好奇心、素晴らしいですね。最後に「(財)グリーンクロス・ジャパン」の「川本恒彦」さんから、リスナーのみなさんへのメッセージです。

川本さん「私自身、環境NGOで働いていますが、決して環境オタクではありませんし、タバコもヘビー・スモーカーですので、いい人間じゃないんですけど、少なくとも子供たちのこういう新しい息吹を継続させたいし、どんどん伸ばしてやりたいと思っています。と、逆に大人のほうもそういう子供たちの活動しようという芽を摘まないように、それを育てるように親御さんであれ、先生であれ、地域の人達みんなが盛り上げていって、そこで自分達も子供たちのスタイルを一部でも取り入れていただきたいと思います。例えば、エコプロダクツの会場でタバコのポイ捨てはしないとか、そういうことを1つでも取り入れていけば、温暖化で-6%を目指していますけど、そういう達成も近いんじゃないかということで、是非とも大人の方は協力していただきたいと思っています」

「グリーンクロス・ジャパン」では1年に1回、「みどりの小道〜環境日記シンポジウム」を開催、第8回目を迎えた今回は



「(財)グリーンクロス・ジャパン」の川本恒彦さん

去年12月に「エコプロダクツ2006」と同時開催され、全国から集まった子供たちによって環境や平和に関する意見交換ほか、優れた環境日記の表彰式も行なわれました。「環境日記」の冊子は去年、10万部配布、今年も全国の小学校やエコクラブに無料で配布することになっています。詳しくはこの番組のホームページから飛んでいける「(財)グリーンクロス・ジャパン」のホームページをご覧ください。以上、1月は4回にわけて、「エコプロダクツ2006取材リポート」をお送りしました。

・(財)グリーンクロス・ジャパンのHP: <http://www.gcj.jp/>

信州の風～ちよいエコ発電編

第3弾は「自分で作るマイクロ風力発電機“信州の風”」をご紹介します。うちわくらいの大きさの、ステンレス製のハネが3枚、くるくる回る、かわいい風力発電装置を見つけた取材班は「信州の風」そして「ちよいエコ発電」というネーミングに興味を覚え、取材しました。出展者である「有限会社オンウェーブ」の「高島公洋(たかしま・きみひろ)」さんは開発した意図や特徴をこうおっしゃっています。

高島さん「開発した意図としては、信州の場合、山に囲まれているので、風が吹きづらく弱いんですね。だから、平均で大体1メートルから2メートルしか吹きません。ですから、それで発電できるような風力発電ということでこの商品を開発しました。で、たまに突風や強風が吹くということがありますので、この発電機の特徴としては、羽の部分の支柱が折れて曲がるので、強風にも対応することができます。で、強風が吹いた場合は安定して羽が折れる形になりますので、ペンディング・ロットという形で羽が折れますので、安定して回転します。小型の場合、発電機を壊す場合がありますけど、このペンディング・ロットで羽が壊れたり、発電機が壊れたりするというのを防ぐことができます」

風速1メートルのそよ風でもスムーズに回転し、風速1.5メートルで12V、3メートルで1Wの発電が可能だそうです。この「自分で作るマイクロ風力発電機“信州の風”」は小型ということでこんな使い方もできるそうです。

高島さん「小型ということで、今考えている設置場所は、マンションのベランダに設置して発電するということを考えています。10分くらいで組み立てられますので、キャンプ場などに持っていっても、風さえあれば、発電してライトをつけるということができます」



「オンウェーブ」の代表「高島公洋」さん。
風車の羽はご覧の通り、うちわでもOK。
親子で楽しめる「信州の風」!

マンション
にも設置
できるし、カ
ンプ場でも

使えるということは災害時にも有効だと言えるのではないのでしょうか。「有限会社オンウェーブ」の「高島公洋」さんは「信州の風」をこんな方に使って欲しいとおっしゃっていました。

高島さん「お子さんがいらっしゃる方に特に使っていただきたいですね。一種の啓蒙商品でありながら、実用にも耐えられるというものなので、お子さんと一緒に楽しみながら、羽の形を変えていただいて発電したりとか、色を塗って絵を描いたりして、回してみたりというような形で使っていただきたいのと、最近では定年退職されて『ちょっとやることないよ』っていう方は趣味としてやっていただければもっと面白いと思います」



誰でも簡単に組み立てられる「マイクロ風力発電機“信州の風”」、気になるお値段は本体の風力発電機のみで13万円から14万円。「有限会社オンウェーブ」では、興味はあるんだけど、ちょっと高いな~と思う方のために、「ちよいエコ発電」というレンタル・サービスを行なっています。3ヶ月単位で、月額1万円から。

さて、来週は(財)グリーンクロス・ジャパンが行なっている環境教育プログラム「みどりの小道“環境日記”」をご紹介します。

・有限会社オンウェーブのHP: <http://www.onwave.co.jp/jp/top/index.html>

ECOネット編

第2弾は、窓に貼るだけで室内の温度を下げてくれる「ECOネット」をご紹介します。

お話をうかがったのは「アイコール株式会社」のエコ事業部マネージャー「熊岡 真」さんです。まず「ECOネット」とはどんな商品なのか説明していただきました。

熊岡さん「こちらのECOネットは外気の温度が上昇したときに、室内の温度を外気の温度よりも約3℃くらい下げるために作られたネットなんです